

11月 みどり

令和8年10月30日
みどり幼稚園



保育目標（11月）

- ◎ ルールのある遊びを通して友達と関わる。
- ◎ 音楽会に関心をもち、皆と一緒に合奏したり歌や遊戯、劇遊びを楽しむ。
- ◎ 勤労感謝の日にちなみ、働いている方へ感謝の気持ちをもつ。

【11月の園行事】

月	火	水	木	金	土
2	3	4	5	6	7
令和9年度 入園願書 受付開始	文化の日 (休園)	体操教室 (年中・年長組)			預かり保育
9	10	11	12	13	14
		わくわく教室⑥ 八戸市美術館 (年中・年長組)	ぴよちゃんクラブ 英語教室 (年中・年長組)	サッカー教室 (年中・年長組) ※家庭教育学級 全体会	休園
16	17	18	19	20	21
			ぴよちゃんクラブ	職場訪問 (年長組) 美術館鑑賞 (全園児)	預かり保育
23	24	25	26	27	28
勤労感謝の日 (休園)			あそびランド 柏崎小へ (年長組)	園内リハーサル お弁当の日	休園
30	<div>♪ 音楽会について ♪ 日時：令和8年12月5日（土）10：00～ 場所：みどり幼稚園 ホール ★詳細は後程ご案内致します。</div> 				

穏やかな秋の日が続くかと思えば急に冷え込んだり寒暖の差が激しくなってきました。幼稚園のイチョウも黄色い葉を少しずつ落とし始めています。今年は園の玄関横のシラカシの木にたくさん実ができて、子どもたちがドングリを拾うのを楽しみにしています。

音楽会の練習が始まっています。

2学期は多くの行事があり行事を通して“ヒト・モノ・コト”との出会いは子どもたちの成長に大きな影響を与えてくれます。特に音楽会には特別な喜びがあります。それは①みんなと一緒に歌を歌ったり演奏する喜び②最初は難しいと思うこともみんなで練習していくうちにできるようになる喜びです。音楽会の練習、発表を通して生涯にわたって音楽を好きになったり、さまざまなことに意欲的にチャレンジできるようになってほしいと願っています。

七五三のお詣り

10月20日は少し曇り空でしたが、おがみ神社へ七五三のお詣りに出かけました。宮司さんが最後に「みどり幼稚園の子どもたちがすくすく成長しますようにお願いしましたよ。」とお話しされるとそれまでは神妙な面持ちだった子どもたちでしたがほっと安心した表情を見せていました。その後、年長組さんは八戸公園へ卒園記念撮影へ。誰もいない秋の公園を手をつないで楽し気に歌いながら歩く姿はとてもかわいらしかったです。

美術館でアートワーク（創作活動）をします！

今年もクルームパペルの久保田久美絵さんと市内6つの幼稚園・保育園が参加して創作活動を行いました。昨年は展示のみでしたが今年は子どもたちの活動の様子を美術館で一般公開することになりましたのでご案内致します。

☆アートワークの公開 令和8年11月11日（水）10：40～11：20

八戸市美術館ギャラリー①

年中・年長組が参加します。ギャラリー入口から活動の見学ができます。

☆作品展示 令和8年11月20日（金）～23日（月）10：00～19：00

最終日

～17：00

八戸市美術館スタジオ

※ 家庭教育学級全体研修会

「スマホ・タブレットは子どもに何をもちたらすか」

令和8年11月13日（金）10：30～12：00

八戸市総合保健センター3F ご都合のつく方どうぞ！



令和 7 年度 自己評価報告書

学校法人正栄学園 みどり幼稚園

《実施日》令和 8 年3月 17 日(火)・18 日(水)

《参加者》正部家・御子柴・齋藤・柳沢・高橋・渡部・吹切

1. 本園の教育目標

- ・明るく元気な子
- ・友達と仲良く遊べる子
- ・思いやりのあるやさしい子
- ・最後までやりとげる子

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

○「生活する力」「関わる力」「学びに向かう力」の3つの柱のもとに子どもの姿を踏まえた保育者の関わり・環境構成を考え、実践する。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	子どもの発想を生かす造形遊び	B	△子どもが興味を示すものと保育者が意図的に準備したものが、必ずしも子どもが興味を示さずにいた。 ○朝の自由遊びを盛り上げるためには、保育者の事前準備が必要で、保育者自身も製作するために材料の素材を知ったり道具の扱い方を知ることができた。 ○クラス活動(お店屋さんごっこ、お祭りごっこなど)では、事前に子ども達との話し合いを設けてお互いに意見を出し合い、イメージを共有することができ、一緒に製作活動に取り組めた。
2	発達の特性に応じた運動遊び	C	○長縄遊びでは、年齢に合わせて回すスピードを工夫した。 ○鬼ごっこなどの集団遊びでは、ルールを踏まえながら年齢に応じルールを変えながら楽しめるようにしてきた。 △前半は、運動器具(巧技台・はしごなど)を出して遊んでいたが、後半は出して遊ぶことが少なくなった。 ○年長組は全員、短縄を跳べるようになった。
3	園内研修の充実	B	○それぞれの研修で学んだことを発表し合い共有できた。 △研修した内容を保育に意図的に取り組むことがあまりできなかった。

評価(A:十分に成果があった B:成果があった C:少し成果があった D:成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・造形遊びでは子ども達が何の素材を求めているのか扱いやすいもの、想像をかきたてるものはどんなものか、先を見通して準備をしていきたい。 ・一人ひとりの『作りたい気持ち』に寄り添うような環境構成や援助の仕方が難しかったため、子ども達の遊びの様子をじっくりと見つめ、どのような言葉かけや援助が必要なのか考えていきたい。 ・園内研修は、来年の東北大会に向けて、どのようなものを目指して進むか分かり始めてきた気がする。 ・年長組が短縄に取り組む様子を見て、他学年の子ども達が憧れの気持ちを持ち、興味をもって長縄や短縄に取り組めるようになった。 ・それぞれの研修で学んだことを共有することができ、充実していた。その学びを保育に生かしつなげるようにしていきたい。

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	子どもの発想を生かした造形的な遊び	<ul style="list-style-type: none"> ◎日常の遊びを通して環境設定の見直しをする。 ◎日頃の保育者の関わりや言葉かけの大切さに気付き、子ども達からの発信をきちんと受け止め、丁寧な対応を心がける。 ◎生活の中での造形的な遊びに目を向け個々の発想を生かせるような援助をする。 ◎クラスの環境について朝の打ち合わせの時に発表し合う。 ◎自由遊びの子ども様子を記録に基づいて週案の時に発表し合う。(エピソードを一人から二人ずつ)
2	発達特性に応じた運動遊び	<ul style="list-style-type: none"> ◎運動指針を見直し、発達特性に応じた運動遊びを工夫する。 ◎発達に応じた運動遊びを指導計画に入れる。 ◎子ども達が運動遊びを楽しめるように環境を整える。 ◎腕と足の力をつけるために、雑巾がけを行う(ホールでも)
3	園内研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◎子ども達の造形的な遊びの様子など記録やエピソードを持ち寄り、週案の時に話し合うことで、保育を振りかえる習慣を身につける。 ◎リトミックや運動遊びを学び合う。 ◎保護者対応や支援が必要な子への対応の仕方について、研修会に参加したり話し合う機会をもつ。

令和8年4月8日(水) 学校関係者評価委員会にて

6. 学校関係者評価委員会の評価

- (1)発想を生かす活動で、クルームパペル久保田さんとの活動することにより、美術館での展示を家族で体験する機会を得ることができた。
- (2)先生方、職員の皆さんが笑顔でお声がけをしてくれる。子ども達を大事にしてくれていることが伝わる。先生が子ども達、それぞれのペースに合わせていて、一人ひとりをみて、全員が育つように接している。
- (3)保護者として一年過ごせて楽しかった。一年を通して、子どもが成長したと感じた。何かをつくることも楽しめるようになった。
- (4)発想力の豊かさなど、これまでの積み重ねできっとよい東北大会の公開保育ができると思う。
- (5)子どもの気持ちに寄り添い、子どもたちにやる気を起こさせている様子を何度も見ることができた。また、これからの時代に必要な教育はどんなものか幼稚園として発信していくことは必要であると思う。
- (6)先生方の笑顔でいつでも誰でも受け入れている感じに好感がもてる。子どもたちと先生との信頼関係もある。その子に合わせて、せかさずに待っている姿は子どもにとっては信じてもらっている安心感をもてる。